

胃腸薬

一般に販売されている薬の中で胃腸薬の種類が特に多いようです。食べ過ぎてても、食欲がなくても胃腸薬は家庭の常備薬として浸透してきました。その胃腸薬含まれる成分によって微妙に効き目が違います。大きく分けると

- ① 普段から胃腸が弱いので意を守るために飲むようにできているもの
- ② 食べ過ぎや胃弱で消化が思うように行かないための消化系の胃腸薬
- ③ 胃液の酸が強いため胃痛や胸焼けのある人に制酸剤系統の胃腸薬
- ④ 痛みが激しい胃炎や潰瘍の痛みを止める胃腸薬

①は漢方や生薬で構成されており②は消化酵素が多めに配合され③酸を抑える重曹が多く使われてきました④は最近医師の使う薬の一部が販売され始めました。

そして家庭にいつも準備されているのは総合胃腸薬で、①と②と③がミックスされているものがほとんどです。どんな症状でもまずは試して、ある程度の効果が期待できるので長い間家庭常備薬として愛用されてきました。そしてそれで効果が出ない場合はそれぞれの症状にあった薬をかかりつけ薬局の薬剤師に相談して選んでもらいましょう。

それでも症状に改善が見られないときは、胃腸の専門医に相談しましょう。胃腸は食べ物をエネルギーに変えるための大切な臓器です。